# 会報山口七夕会

令和5年(2023年)1月

第 50 号

発行:会報編集委員会/

山口市七夕会事務局

題字/書・原野和夫氏

# 山口市から交流で新しい発信を



明けましておめでとうございます。

新年を迎えてもコロナの第八波は侮れません。今回も行動制限はなく、防御は国民の判断に任されています。一方でワクチン接種も進んでおり、言わば「恐れと楽観の同居」の様な状態ですが、安心は禁物。各自で安全を確保してください。

先般 11 月 18 日に山口市に行き、山口観光コンベンション協会で渡邊副会長と共に打合せに参加しました。大内文化を代表する国宝・五重塔の大改修プロジェクトへの寄付金等について、関係者と一堂に会して進捗状況や今後の方針について意見交換させて頂きました。

また翌日の11月19日には山口本部・秋の講演・交流会にも参加させて頂きました。伊藤山口市長、入江市議会議長はじめ山口市役所の幹部役職員に加え、在山口の七夕会会員が多数参加され会場が一杯になりました。ふるさと山口本部の申神本部長以下、

役員の方々のご努力と参加してくださった方々の熱気を肌で感じる事が出来ました。

講演・交流会では、まず7月30日の東京総会でもご講演頂いた山口市出身の元陸将の住田和明さんから「日本の安全保障」の話を伺うことが出来ました。講師の住田元陸将は今回で3回目の七夕会講演だそうですが、いつもその時点での世界情勢を踏まえたお話をしてくださり、会場の皆さんから賞賛の声が上がっていました。

交流会では会員相互の情報交換だけでなく、3年前から会則に規定された「ふるさと山口の発展に寄与する」という七夕会の目標に向け、私ども首都圏の会員と地元山口の会員相互の交流も果たすことが出来たと思います。

一方、首都圏でも七夕会に新しい動きが始まっています。まず11月20日には従来なかった新しい企画「山口七夕会昼下がりのJAZZイベント」が飯田橋のルコで開催されました。「山口市の銘酒とともに昭和の名曲をジャズでお楽しみください」と銘打って大人の時間が企画されました。また、七夕会恒例のウォーキングは12月3日に「秋の紅葉ウォーキング2022」が開催され、「六義園」、

「旧古河庭園」を散策した後、とげぬき地蔵商店街のお店で乾杯と晩秋の一日のイベントとなりました。更に新年には新しい「ウキウキ抽選会」という新企画が待っています。七夕会幹事の皆さんが若い人たちの心に訴える企画をどんどん考え実行してくれています。新しい通信ネットワークを通じて若い人たちに七夕会企画への参加を呼び掛けています。若い人々が七夕会をさらに盛り上げて下さることを期待しています。新しい形での七夕会の運営をお願いする次第です。

最後に七夕会の機関紙「会報」に皆様からのご寄稿をお願いしたいと思います。特に「ふるさと 山口市」に関する現在・過去の情報の収集・拡大を期待しています。「ふるさと山口市の発展に寄与 する」為に今後とも七夕会を通じて努力して行きたく、会員皆様のご協力とご支援を賜りたいと思 います。

> 令和 5 年(2023 年)1 月 山口七夕会 会長 秋草史幸

# < 目 次 >

貝1	<b>秋阜会長疾</b> 拶
頁2	目次
頁3	【大使の一言】岡本 暁彦さんから
頁4~5	【コラム】美しい日本語
頁6	【レポート】ふるさと山口本部 秋の講演・交流会
頁7	【講師寄稿】講演概要
頁8	【リレーコラム】ふるさとの味めぐり「祖母との4年間」
頁9	【レポート】山口七夕会プレゼンツ・昼下がりのJAZZ
頁10	【レポート】山口七夕会 親睦ゴルフ"第6回 八木重二郎杯
頁11	【レポート】秋の紅葉ウォーキング2022
頁12	【新入会員から一言】川端 洋祐さんから
頁13	【お知らせ】イベント情報
頁14	【重要】山口七夕会会員名簿発行について
頁15	【重要】山口七夕会「公開会員名簿」記載可否連絡票

※会報は山口七夕会のHPにもアップします。カラー版をHPでお楽しみ下さい。

【重要】メールアドレス登録(再登録)のお願い

頁16

# 大使の一言

## 山口七夕ふるさと大使 岡本 暁彦(会員 No. 491)

いつも大変お世話になっております。今年は全国的に移動制限が緩和され、旅行やイベントも再開したところが多かったと思います。それでは山口市はどんな様子だったか。今年12月1日発行の市報やまぐち(No.403)に年間イベント一覧が記載されています。地元特産品、AI活用、スマートライフ、電気自動車カーシェアなど、次世代の山口作りに向けた取り組みが進んでいることが分かります。中でも目を引くのが8月に開催された七夕ちょうちん祭りです。三年ぶりの開催でネットでも沢山写真付き記事が挙がり、皆さんマスク超しでも笑顔で楽しんでおられる様子が印象的でした。コロナは人々の生活様式のデジタル化を促進しましたが、今後は七夕ちょうちん祭りも進化するのかなとふと期待します。

一方、市報には記載ありませんが今年9月19日、台風が山口県を直撃しました。NHK全国ニュースで、山口市内を流れる仁保川が増水し氾濫の危険性が高いと、大内の御堀橋が映りました。数年前に河川や道路破壊があったばかりで地元民の私はまたかと困惑です。インターネットで仁保川から椹野川への水の流れや、ライブカメラで氾濫具合を見てやきもきしましたが、幸い大きな事故はニュース記事になっておらず安心していました。ところが数日後訃報が届きました。大内矢田にある柴田病院の柴田大明院長です。私と彼は同級生で同じ部活仲間でした。最後に会ったのは七夕ちょうちん祭りと同様三年前で、連絡を控えていたところにとても悲しい知らせでした。ご遺族によれば、患者さんや介護施設の方々の避難対策を考える為、河川の氾濫状況を確認している最中に事故にあったのではないかとのことでした。柴田先生は優しく獣医になりたいと夢をもっていましたが、山口市の地域医療の道を選ばれました。弔問の際、遺品資料を色々見せてもらいました。医師としての活動や理念は素晴らしく感動しました。子供の頃と比べて、見慣れた盆地地形の自然に対する見方も随分変わったようで、常緑樹とブナの木々が混ざり変わる美しい様子を見て、山が笑うとはこのことかと分かるようになったと、山口の地域や自然を愛していた様子が伝わります。彼の優しさは「春風以人接、秋霜以自粛」という言葉が好きということからも分かり、私もこの言葉は忘れず、貴重な財産にさせていただきます。山口市の地域医療対策や自然災害対策は重要課題と

思います。私個人でも微力ながら何か貢献したいと思っていますが、山口県や山口市に対しては、医療や自然災害対策に引き続きご尽力を頂戴したいと思う次第です。

最後に姫山から山口市大内方面の景色です。コロナやDXが進んでもここは変わらぬ 景色に思います。例年、元旦は天気が良ければ多くの地元民が参拝されます。



# 美しい日本語

## 副会長/会長代行 渡邊 史信 (会員 No. 364)

私が男声合唱を趣味にしている事は何度かご紹介したと思います。今回は私が創立者の一人である 1991 年創立のデュッセルドルフ日本男声合唱団(以下 DMC)に関連した話です。ちみに秋草会長もこの DMC のメンバーです。

決まった練習場を持たないアマチュア合唱団はどこも練習場探しが大変です。DMC は千代田区に登録して区内の公共設備を抽選で予約する等、幹事はご苦労様です。その中で、先般千代田区立麹町小学校の音楽室を使用できました。その教室の壁に興味深いものが貼ってあったのでご紹介します。

音楽を表現する言葉は多々あり、その人の感性に従って色々表現されています。今回見つけたのは、多分音楽の先生が5つのカテゴリー別に纏められたものでしょう。素晴らしい感性の先生だと敬服すると同時に、幸せな児童達だと思いました。



[緑の枠] くらい、悲しい、さびしい、おそろしい、こわい、あやしい、ふしぎな、 弱々しい

[ピンクの枠] しずかな、のどかな、おだやかな、なめらかな、うららかな、豊かな、やさしい、 ゆったりとした

[青の枠] おもしろい、おかしい、おどけた、はしゃいだ、きまぐれな、うかれた、 間の抜けた、いそがしそうな

[橙色の枠] 元気な、はげしい、力強い、堂々とした、生き生きとした、 はしるような、はずむような、とぶような

[黄色の枠] 明るい、楽しい、うれしい、かがやかしい、はなやかな、歌うような、 ほがらかな、さわやかな

美しい言葉だと思います。そしてこんなにも表現できるのですね。これらの言葉それぞれが持つイメージは個人個人で微妙に違うでしょうが、こう言った言葉を普段使っていない(であろう)大人は、何と味気ない世界に生きているのでしょうか。

最近耳につく言葉に「可愛い」があります。テレビからは「可愛い、かわいーい!」の連続です。 日本語には「愛らしい、頑是ない、いたいけない、いとけない、微笑ましい、ほっこり、まるま る、等々」状況や対象によって使い分けられる言葉があります。先の先生の選ばれた言葉の中 に「可愛い」がないのは見識でしょうか?

さて、麹町小学校はその名が示す通り、日本の東京のど真ん中の皇居・国会議事堂や政治・行政・外交関係の施設に囲まれており、校章は「菊と桐」を配したものだそうです。その歴史は1875年(明治8年)に遡ります。児童数は575人だと。

卒業生には様々な著名人がいますが、滝廉太郎・黒田清輝・2 代目尾上松緑らも その中にありました。そして同じ教室に校歌が貼ってありました。有名な阪田寛夫作詞、冨田 勲作曲だそうです。流石日本の中心にある伝統ある小学校の校歌だと感じました。以下その 歌詞を同校 HP より紹介します。

- 一、ガラスの森に うたごえひびく 街の学校 麹町 校舎が好きだ 桜が好きだ 空は真上に やさしく青い 花びらが降る 木の葉が降る 光がみんなに 手をさしだすよ
- 二、みどりの風は お濠をこえて 歴史は香る 麹町 父母のまた父母 その父母よりも もっとむかしも子どもは子ども 信じるこころ ひろいこころ うけつぐバトンを未来へ送ろう
- 三、ビルにのぼれば 海まで見える ここは高台 麹町 世界が好きだ 地球が好きだ 海のむこうの 小学生と よろこびを分け なみだを分け いっしょに大きく つばさはばたこう

特に三番がいいですね。 ちなみに私は山口の出身校の校歌が大好きです。

# 令和4年度ふるさと山口本部 「秋の講演・交流会」

## ふるさと山口本部・副本部長 庄 栄一郎(会員No.475)

令和4年11月19日(土)18時から、湯田温泉の「セントコア山口」で、講演会77名、 交流会70名の参加で開催された。

講演会に先立ち、まず就任2年目になる 申神本部長から、困難な状況の中、参加していただいたお礼が述べられた。続いて、 伊藤市長からは昨年の11/13に市長に就任して初めての公務が11/14の七夕会の講演交流会への参加で、七夕会は大変縁のある会であること。市政の話題として脱炭素の中心商店街の取組等が紹介された。最後に東京より駆け付けて下さった秋草会長より、ふるさと山口本部の力、熱意に感心したこと、国宝瑠璃光寺五重塔改修へのクラウドファンディングへの協力お願い等があった。

18 時 10 分より、元陸上総隊司令官の住 田和明さんより、演題「激動する安全保障環境」の講演。講演では、

- ・日本有事の場合、政治家にはゼレンスキー大統領のような覚悟と国民の意識が求められること。
- ・自衛隊内にもサイバー戦への部署が設けられたが、自衛隊全体で人員が不足する中、 十分な人数が割けていない現状。
- ・サイバー攻撃に対抗するためには IT 関係 の民間とのある程度の情報共有も必要。 等の話があった。

サイバー戦の様相を呈してきた現在、安全保障を自衛隊だけに任せるのではなく、 国民一人一人もDXについてもっと勉強し取組む必要があると感じた。

同会場で19時10分から交流会。

入江市議会議長の乾杯のご発声で開会。 梶岡牛など最高に美味しい料理とワインや お酒に舌鼓を打ちながらビッフェ方式の会 食。

開会直後、元財務大臣政務官高村正大 先生と総務大臣政務官杉田水脈先生よりご 挨拶をいただいた。

余興は、旭水産の八木さんより車エビ、白 石山ファームの能美さんより徳地のお米、関 さんより徳佐のコシヒカリ「田楽米」、松西さんより「てるみんガーデンファーム」の野菜、セントコア山口様より入浴券を無償で提供していただき、申神本部長の音頭で大ジャンケン大会。

車エビは講師の住田和明さんのお母様に 当たり、お母様にも大変喜んでもらえた。

恒例の総踊りは、「狐ダンス」。

秋草会長をはじめ、渡邊副会長、94歳の 福田百合子先生にも壇上で踊っていただき 会場全体で盛り上がった。

最後は、シンガーソングライターちひろさんのナビゲートの下、山口市民の歌「ふるさとの風」を全員で合唱。

21 時 10 分、松西事務局長による中締め の一本締めで会を閉じた。



山口市民の歌「ふるさとの風」合唱



参加者全員でコンコンの「狐ポーズ」

# 【講師寄稿】

# 講演概要

申神様のお誘いにより、秋の講演・交流会で講話する機会をいただきましたことに感謝申し上げます。世界秩序の混乱をもたらしているウクライナ戦争の状況を中心に「激動する安全保障環境」と題してお話しさせていただきました。堅苦しい内容にもかかわらず最後まで熱心にお聞きいただきありがとうございました。以下はその概要です。

#### 1 はじめに

 住田 和明 (会員 No. 835)



あると考え、中世ョーロッパに栄え、両国が共に起源だと主張する「キエフ・ルーシ大公国」の時代に遡り、ウクライナ戦争に至る歴史的背景と NATO の拡大について紹介しました。

### 2 我が国周辺の安全保障環境

大陸国家と異なり四面を海に囲まれた日本人は脅威の認識が希薄です。一方、我が国は中国、ロシア、北朝鮮といった核保有国に取り囲まれており、各国は各種のミサイルを凄まじい勢いで開発しています。 30 か国に及ぶ国々が結束して NATO という集団安全保障体制をとっている欧州と我が国周辺の環境は全く違うのです。

戦後、我が国は米国との同盟関係を基本とし、矛(打撃力)の役割を全面的に米国に依存し、我が国は楯(防護力)に徹するという防衛政策によって平和と安全、経済発展を享受してきました。この間、中国の覇権拡大は止まることを知らず、2025 年頃までには第2列島線まで拡大すると予測され、西太平洋における米国の軍事的優位性は失われつつあります。北朝鮮は七夕会の前日に新型大陸間弾道ミサイル(ICBM)「火星17」の発射に成功しました。ウクライナを侵攻中のロシアも北方領土の配備を増強しており、核を搭載した原子力潜水艦がオホーツク海を遊弋(ゆうよく)しています。

#### 3 今後の課題

ウクライナへの侵攻直後、プーチン大統領は核の使用も辞さないと世界を恫喝し、一挙に低出力 核使用の閾値を下げました。幸い、年末に向けて国家安全保障戦略など安全保障に関連する3文書 の見直しが進められています。我が国の安全保障に万全を期すため、防衛力を抜本的に強化すると ともに、日米同盟の実効性を高めなければなりません。2027年までに生起するかもしれないと危惧 される「台湾有事」への備えは待ったなしの状態です。この際、ウクライナ戦争でも見られたよう に平時や有事の境目のないグレーゾーン事態や軍事・非軍事が混在したハイブリッド戦への対応、 従来の領域に加えて宇宙、サイバー、電磁波、認知といった新たな領域への対応も大きな課題です。

#### 4 おわりに

我が国としてもこれから始まる新たな世界秩序の形成に積極的に貢献するとともに、防衛力の 抜本的強化をはじめ国家の総力を挙げて国難に挑む態勢の構築、政治指導者の覚悟、国民の意識 改革などが必要です。

今回の講話が皆様の安全保障に関するご理解に少しでもお役に立てれば幸いです。

# ふるさとの味めぐり 「祖母との4年間」

## 本部·幹事 小野 美穂子 (会員No. 311)

私の山口での生活は高校二年生に始まりました。それまでは家族で徳島に住んでいましたが、父が京都に転勤になったのを機に、なぜか私だけ山口で箏の教室をしている祖母(小野夕波)と生活を送ることになります。箏を教えている祖母と生活する事で、自然に私が箏を学ぶようになるであろう・・、との母の企みに見事はまってしまった形です。母の作戦通り、私は高校二年生から4年間、山口で祖母と生活を送る事になり、その後、上京して箏の演奏家となりました。

そんな私のふるさとの味めぐりは、祖母と暮らした山口で 心に残った味をご案内したいと思います。

私が初めて親元を離れ、身内ではありますがお互い少一しずつ 気をつかってしまう祖母と孫の生活。暮らし始めたのが高校生で、毎 日のお昼ご飯は学校の売店で買うパンでは腹持ちわるく、自分で弁当 を作っていくようになりました。

ある日、午前中の休み時間に祖母が私に何かを持ってきました。受け取ると熱々のタッパ。中には炊き立てのグリンピースご飯が入っていました。持ってきてくれた理由は「残りご飯を持って行ったから悪くなっているといけないから・・」と。ちゃんと気にかけてくれてたんだなぁ、と初めて思いました。凄く嬉しかったのに思春期だったからお礼もキチンと言っていなかったように思います。

山口に住み始めて一番の思い出のあるご飯は、少し塩の効いた炊きたて「グリンピースごはん」です。私も今では家族のために作っているお得意ご飯です。



祖母主催の箏の演奏会



祖母とのツーショット

その他にも祖母が作ってくれた食事で忘れられないものがありますのでご紹介します。

「ほうれん草の白和え」茹でたホーレンソウとよく水気を切ったトーフを潰したものを、大量のゴマをすり鉢で擦って甘い味噌味で味付けしたもの。祖母が胡麻を擦っている姿が忘れられないです。

「白身魚のお茶漬け」山口では刺身と言うとマグロより鯛やヒラメの白身魚をよく食べていましたが、必ず少し残して醤油漬け(みりん入り)にしたものを次の日にお茶漬けでいただきます。 大した料理ではありませんが、どれもこれも私には忘れられない祖母の味です。

そうそう、あと一つ祖母も大好きだった味。滅多に外食はしていませんでしたが、家族の行事がある時に必ず行っていたお店があります。お寿司と釜めしの「一柳いちりゅう」さん。中に入ると釜めし屋さんとお寿司屋さんの二つの顔があります。うちはもっぱら「釜めし屋さん」で季節の「釜めし」をいただきます。秋に食べる「栗釜めし」は栗がゴロゴロ入って抜群の食べ応え。あと、必ず注文するのが「鳥の唐揚げ」。(笑) そして食いしん坊の姉夫婦はお隣からお寿司を注文。

今年は祖母の14回忌の年です。法事の時にはまた祖母の話をしなが ら美味しい釜めしとお寿司で大騒ぎしたいと思います。

「一柳いちりゅう」さん、その時はまたお世話になります!



4代勢揃い

# 山口七夕会プレゼンツ・昼下がりのJAZZ

## 本部·本部長代行 西村 弘文(会員 No. 464)

11月20日(日)、東京本部では飯田橋にあるインテリジェント ロビー・ルコにて「昼下がりのJAZZ~山口市の銘酒と共に~」と 題して、JAZZライブと食事の会を開催しました。参加者は演奏者 を含めて30名でした。

仕掛け人は7月に開催した「東京都北区ココキタ ストリートピア ノとのコラボ」に引き続き関幹事長で、新企画第2弾となります。 ピアノバーを営み、歌手としてCDデビューも果たしている関幹事長 はミュージシャンとの交流があり、今回の企画はその縁故によって実 現しました。



出演者は、福岡を拠点に九州・山口 を中心とした全国で演奏活動を行う 山口市出身のサックス奏者の飛松賢 二さん、ヴォーカルは看護師として働 く傍らシンガーソングライターとして 活動中の「看護師みか」さん、ピアノは 関幹事長です。当初計画はサックス& ピアノによる構成でしたが、ご年配の 方には歌謡曲風の曲があった方が良か ろうと、飛松さんには歌謡曲をジャズ

~山口市の鉛泡と



ルとして看護師みかさんにも参加して頂いたものです。

会は藤井本部長の挨拶の後、会食から開始。山口市役所から差入れとして送って頂いた日本酒「鴻 城乃誉」と、りんごジュース「林檎の樹らら」を交え、お酒と美味しいお弁当でエネルギーを補給 しました。食事と会話を楽しんだ後にはいよいよJAZZライブの始まりです。

ライブは飛松さんのソロ演奏から。飛松さんがジャズ風にアレンジした「ウキウキ WATCHING (笑っていいとものテーマ曲)」から始まり、「take five」かと思わせる「ああ人生に 涙あり (水戸黄門の主題歌)」が続きます。このあたりまではお酒を片手に聴くジャズバーの雰囲 気でしたが、5曲目の「川の流れのように」の頃には皆さんすっかり曲に聴き入っていました。



6曲目からは関幹事長のピアノが加わり、雰囲気がより重厚 に。8曲目からは看護師みかさんのヴォーカルを交えて昭和 歌謡をカバーしてのJAZZライブとなりました。飛松さん のテクニックと看護師みかさんの澄んだ歌声で会場は盛り上

がり、最後の曲となっ た「夜明けのうた」に 続いてアンコールが起

こり、更に2曲が追加されました。最後の最後に、ピアノ をアコーディオンに持ち替えて会場内を練り歩く関幹事長 と飛松さんのサックスに看護師みかさんがピアノで加わっ た「聖者の行進」で一足早いクリスマスの雰囲気を味わい つつ、会は盛会のうちに終了しました。



# 山口七夕会 親睦ゴルフ"第6回 八木重二郎杯"

本部·本部長 藤井 謙志 (会員 No. 611)

令和4年11月4日(金)絶好の秋晴れ、ゴルフ日和の中、山口七夕会親睦ゴルフである"第六回八木重二郎杯"が開催されました。場所はPGM武蔵ゴルフクラブです。コロナ禍を乗り越え、回を重ねる事ができましたのも、ご参加頂ける会員の皆さまのお陰と感謝申し上げます。

今回も一週間前時点での週間天気予報では降水確率 40%と少しお天気が心配でしたが、ご参加の皆さまの日 頃の行いが為せる業か、当日は気持ちの良い秋晴れに恵 まれました。

今回は八木顧問がどうしても外せない用件により初めてご欠席されましたが、一方で初参加の杉川さんをお



迎えし、3パーティーでのスタートとなりました。今日を楽しみにして下さっていた岡本達也さんは残念ながら膝の靭帯損傷のため欠席となりましたが、その後快方へ向かわれたとお聞きしております。風もなく気持ちのよい朝の景色の中、梅田さんにご挨拶頂き、集合写真を撮った後、キャディさんが運転するカートで山口弁をしゃべりながら、ゆっくりティーグラウンドへと向かいました。

ティーショットを打つまでは「親睦ゴルフじゃけぇ。」と言いながらもラウンドし始めると、ひんなって(必死になって)ボールをシバき上げるのはゴルファーの常ですが、今回、85歳の梅田さんのドライバーが絶好調、年齢を感じさせない飛距離と精度で「年齢詐称じゃろう。20歳はサバを読んじょる。」と言われるほどでした。さすがは昔、山高時代に陸上競技の記録をお持ちで文武両道と言われた方だと感じ入りました。

2組目の武内さん、松本さん、大枝さんは、ゴルフのラウンドを重ねていらっしゃる様子が立ち居振る舞いにも表れているようで、プロの風格が出ておりました。最終組の密田さん、利重さん、西村さんの若手(?)組は、和気あいあい楽しそうにラウンドされている様子が印象的でありました。ラウンド中に"番外編 ゴルフ合宿"のお話しも出ておりましたので今後幹事の方で検討させて頂きたいと思います。

コロナもまだまだ予断を許さない状況ですので、ホールアウト後は コースから直接クラブハウス内のレストランへ移動し、簡素化した表 彰式を執り行いました。今回の栄えある優勝者は杉川明さん、準優勝 は前回に続き密田孝代さんです。おめでとうございました。表彰式終 了後は各自のご判断で入浴、帰宅頂きましたが、表彰式を短縮化した ため今回も帰りの高速は夕方の渋滞にかかることなく気持ちよく帰宅 できました。

次回開催は令和5年5月を予定しております。日程が確定し次第、 改めてご案内させて頂きますので、皆様の奮ってのご参加をお待ち申 し上げます。





優勝の杉川さん



準優勝の密田さん

※今回の参加者:梅田圭良さん、武内浩さん、松本孝亮さん、利重尚義さん、密田孝代さん、 杉川明さん、大枝幹夫さん、板井川浩さん、西村弘文さん、藤井謙志(幹事)

# 秋の紅葉ウォーキング2022

2022年の東京紅葉ウォーキングを12月3日(土) に開催しました。今回の参加者は事務局を含め13名で、JR 駒込駅南口に集合し、六義園、旧古河庭園、と げぬき地蔵の紅葉を堪能しながらのウォーキングであり ました。個人的な不注意で膝を痛めた幹事・岡本は全 コースをウォーキング出来ず先頭を藤井本部長、列の しんがりを村中副幹事長に前後を固めてもらいました。 参加者の中、蔵藤さんはご夫妻で参加されました。

まず、「六義園」を目指しウォーキングし、JR 駒込駅 南口に近い染井門から園に入り、各自自由行動で染井 門に再度集合としました。山根和也さん、繁永俊之さん (山口県東京事務所長)などは想定時間オーバーまで 紅葉を満喫されておりました。



写真1 六義園での集合写真



写真2 六義園の紅葉 写真3 旧古河庭園

次に「旧古河庭園」までウォーキングです。洋館と和 が混在した庭園で、バラと紅葉が素晴らしい所でした。 蔵藤ご夫妻はバラがお好きのようで、そのまま延長され 別行動で残られました。ご夫婦で満喫されたことでしょ う。 本部·副本部長 岡本 達也 (会員No.670) 本部·副幹事長 村中 正司 (会員No.706)



写真4 旧古河庭園前での集合写真

次に「とげぬき地蔵」を目指し、ウォーキングをしましたが、想定時間より少し掛かっての全員集合となりました。最後に巣鴨地蔵通り商店街にある「充味」という鮮魚季節料理店にて懇親しました。当日は柳井章雄さんが70歳の古希での誕生日ウォーキングであり、誕生日ケーキで皆さんでお祝いしました。余りの皆さんの盛り上がりに店主も上機嫌でありました。



写真5 とげぬき地蔵前での集合写真



写真6 「充味」での懇親

皆さん無事にウォーキングを完歩され、巣鴨地蔵通り で解散となりました。

# < 新入会員から一言 >

投稿を募集したところ、1名の方から寄稿して頂きましたので、掲載します。これからも新入会員の方に「新入会員から一言」の投稿をメールで案内していきますが、オールド新会員の方で未寄稿の方からの投稿もお待ちしております。自己紹介をしてみませんか?勿論、一般投稿での情報発信・意見発表も大歓迎です。

# 【C&C山口(法人会員)代表 川端 洋祐さん】



昨年入会させて頂きました C&C 山口の川端と申します。都内の商社に勤務しておりましたが、昨年8月に山口市に移住し起業、現在は高齢者向けの訪問型生活支援サービスを展開しています。

山口には祖母が住んでいるため、毎年のように遊びに来ておりました。子供の頃は七夕まつりの時期に合わせて帰省し、幻想的なちょうちんの灯りを見ながら、祖母と商店街を歩いたのがいい思い出です。父が進学・仕事の都合で山口から関東に出たため、私は生まれも育ちも山口ではありません。ですが今夏、久しぶりにちょうちんを見て自然と「帰ってきたなぁ」という感情が湧きました。

山口は亡くなった祖父が開業した土地でもあります。祖父が築き上げた「東天閣」という中華料理店は、現在も叔父が味を守り、もうすぐ創業 60 周年を迎えます。私も祖父のように長年愛されるサービスを創り上げたい、そんな思いで日々奮闘しています。どうかお力添えをよろしくお願い致します。

# <新入会員(個人会員番号・氏名)及び法人会員の皆さん>

現在、個人情報保護に関する規則を整備中のため、整備完了まで本コーナーは休止します。 令和4年 12 月末現在の会員数:個人会員 382 人、法人会員 23 法人

# < 会報山口七夕会への投稿を募集します >

- 1. 大使の一言(「山口七夕ふるさと大使」の皆さんの自己紹介記事やメッセージ)
- **2. 私の一言**(会員の皆さんの自己紹介記事やメッセージ)

## ★テーマの一例

- (1)山口市に関する豆知識
- (2) 山口県外にある山口ゆかりのものや活動
- (3) 今、思っていること

## ★字数

1,200 字程度の文章と写真 2 枚程度を基準。紙面構成上、フォント、行間等を調整します。

## ★投稿締切

5月中旬、8月中旬、12月中旬

#### ★投稿提出先

西村編集長のメールアドレス「joe-levin01@outlook.jp」へ、電子データ(Word、テキスト形式など)でお送りください。

# < イベント予告 ・ ふるさと山口本部 >

## < 冬の徳佐を楽しむ会 >

日時:令和5年2月12日(日)10:00~15:00

場所:阿東地域交流センター(主会場)

内容:徳佐学講座、健康学講座、音楽の時間、給食時間

会費:4,500円(給食時間に参加されない方は無料)

お申し込みは1月31日まで。詳しくは、同封のチラシをご覧下さい。

## < 酣祭「講演会・交流会」>

日時:令和5年3月11日(土)講演会18:00~19:00 交流会19:15~21:00

場所:セントコア山口

山口市湯田温泉3丁目2-7

講演:「酒と私と山口と」 ラジオパーソナリテイ 金光 一昭 氏

会費:7,000円(講演会のみは1,000円) 詳しくは、同封のチラシをご覧下さい。

お申込みは、同封のチラシを参照の上、3月1日(水)までにお願いします。

# < イベント予告 ・ 本部 >

# く 春の交流会 >

日時: 令和5年3月25日(土) 講演会 11:00~12:15 交流会 12:30~14:00

場所:「インテリジェントロビー・ルコ」

東京都新宿区揚場町 2-1 軽子坂MNビル 1F (JR/地下鉄 飯田橋)

講演:「文士 大江広元 と 武士 毛利季光」 あつぎ郷土博物館 学芸員 飯田好人 氏

会費:5,000円

詳しくは、同封のチラシをご覧下さい。

お申込みは、同封のチラシを参照の上、3月15日(水)までにお願いします。

## < 入間基地見学の事前案内 >

日時:令和5年4中旬~5月下旬の平日

場所: 航空自衛隊入間基地

概要は、同封のチラシをご覧下さい。

参加を検討される方はメールアドレスをお知らせ下さい。

会員各位

2023年1月吉日 山口七夕会 会長 秋草史幸 個人情報取扱責任者(副会長) 渡邊史信

# 山口七夕会会員名簿発行について

会員各位におかれましては健やかに新年をお迎えになられたことと拝察申し上げます。 平素は本会の活動に多くのご支援とご理解を頂き、心から御礼申し上げます。

本会も平成 11 年 2 月の設立以来、お陰様で満 24 年を迎えました。その間、会員名簿の発行等は行って参りませんでしたが、会員から「どういう方が会員になっておられるのか知りたい」とか「懐かしい会員と連絡をとりたい」といったご要望が寄せられております。こうしたご要望に応えられないか、ひいては会員相互の交流促進や新規会員の獲得に繋げられるかもしれないとの観点から、以下の通り「公開会員名簿」を年 1 回発行することと致しました。第一回目は本年 9 月発行の会報に同封する予定です。

一方で平成 29 年に改正個人情報保護法が制定され、それ以降ますます個人情報の取り扱いには慎重であることが求められております。当会もその点には十分留意し活動を行っており、今般の「公開会員名簿」を作成・発行するにあたり、記載する項目は「会員番号・会員氏名・氏名ふりがな・住所(但し都道府県・区市町村名のみ)・入会年月日・山口七夕ふるさと大使就任日」の 6 項目に限定することと致しました。更に以上の内容を「山口七夕会個人情報取扱内規」として、本年 1 月 7 日開催の評議員会での承認手続きを終了しました。今後はより一層個人情報の管理・取扱いに慎重を期して行きたいと考えております。なお、評議員会で承認した内規につきましては、山口七夕会ホームページに掲載させて頂きますのでご覧下さい。

つきましては会員皆様の上記「6項目の情報」を、こういう形で名簿に記載させて頂くことにご了解頂けるかのご連絡頂きたく、お願い申し上げます。ご連絡頂けなかった会員の方々、及び掲載を希望しないと表明された会員の方々につきましては「会員番号」のみを記載させて頂き、氏名以下は記載しないこととさせて頂きます。

尚、「公開名簿」に基づく会員相互の連絡先入手の方法や、変更・質問等の連絡先等は「公開名簿」内に記載致します。

以上ご理解の上、以下にて2月28日までにご連絡をお願い申しあげます。

# 山口七夕会「公開会員名簿」記載可否連絡票

締切 : 2023年2月28日

(この締切日は本年9月発行の公開名簿用ですが、随時受付け翌年の名簿に反映いたします。)

- ①FAX の場合 山口七夕会 関周 宛 (FAX 番号 03-3908-8011)
- ②郵送の場合 〒114-0034 北区上十条 3-3-16 関周 宛
- ③メールの場合 seki@8011.jp 関周 宛
- ④電話でも可: 090-9818-4811

# 「公開会員名簿」に下記6項目に限定した内容を記載することを

(どちらかに○をお付けください)

承諾 / 否認 致します。

記載する項目 ①会員番号 ②氏名 ③氏名フリガナ

④住所(都道府県・区市町村名のみ)⑤入会日

⑥山口七夕ふるさと大使就任日 (該当者のみ)

会員番号 /会員名(フリガナ)<br/>連絡先(固定電話/携帯)<br/>メールアドレス

2023年 月 日

# <重要>< メールアドレス登録のお願い >

2023 年、山口七夕会はライブや各種イベント、ウェブ抽選会など「新しい企画」にどんどん取り組んでいきます。

新しい企画はメールを主用してご案内していきますので、メールアドレスの登録をお願いします。

現状、個人会員 382 名のうちでメールアドレスを登録されている方は 251 名ですが、その内の 37 名は送信不能ですので、既に登録されている方も確認のため再度登録をお願いします。

## 【登録方法】

●QRコードリーダ付きのスマートフォンから登録 される方は、右のQRコードを読み込んで下さい。



●パソコンから登録される方は、本文にご自分のメールアドレスを入力して、「seki@8011.jp」 にメールを送信して下さい。

## 【編集後記】

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。令和5年も実りある年となるよう、やっちゃいましょう! 近年、年末の風物詩に加わったものに、ふるさと納税の駆け込み申請があると思いませんか?私も急いで申し込んだ口ですが、続いて1月10日の期限内に税額控除申請書を山口市役所に受理してもらえるか、やきもきしました。冬休みをずらして申請書の受理作業に当たっている職員の方もおられるのでしょうし、余裕を持って前広に手続すれば良い話ですが・・。「山口市へのふるさと納税の推進」は、七夕会の事業計画にも掲げている事項ですので、よろしくお願いします。

「国宝瑠璃光寺五重塔「令和の大改修」クラウドファンディングプロジェクト」には参加されましたか?こちらは 事業計画には書き込んでいませんが、当会は実行委員会に参画しています。第1期募集が終了しましたが、達 成率は30%程のようです。この夏に第2期募集が始まりますが、山口市唯一の国宝であり、我々の目と心を癒 やしてくれる五重塔を存続させるため、こちらへの参加もよろしくお願いします。

編集長(本部・本部長代行) 西村弘文

## 【事務局からのご案内】

- ◎転居されるご予定のある方は…転居予定日、転居先を任意の様式でかまいませんので、下記まで ご連絡ください。(ご連絡がないと会報 山口七夕会や市報等の資料が届かなくなってしまいます)
- ◎退会を希望される方は…退会されるのは残念ですが、任意の様式でかまいませんので、下記まで ご連絡ください。(会員録の整理などの事務手続に必要となります)
  - ★山口七夕会事務局(山口市企画経営課内) 〒753-8650 山口市亀山町2番1号 TEL 083-934-2746

kikaku@city.yamaguchi.lg.jp